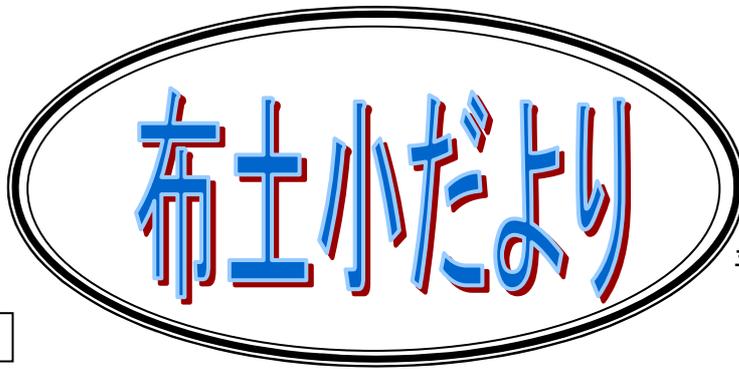




布土小・四つの約束



平成28年度 第14号

11月16日

ハロウィンと立冬

布土小学校長 竹内 弘実

ハロウィンとは、秋の収穫を祝い、悪霊を追い出すお祭りだそうです。数千年前の古代ケルト人のお祭りが元になっています。古代ケルト人は、1年の終わりを10月31日と定め、10月までが夏で、11月から冬が始まると考えていました。そして、31日の夜は、地上と死者の国との間の扉が開き、死者の霊や悪霊が子どもたちをさらったり、作物や家畜に害をなしたりするので、一晩中かがり火をたき、魔除けをしました。「ジャック・オー・ランタン（オレンジ色のカボチャをくりぬき、ナイフで目、鼻、口をつけ、内側に火のついたろうそくを立てるもの）」は、「お化けカボチャ」「カボチャちょうちん」と呼ばれ、ハロウィンを祝う家庭では、カボチャを刻んで怖い顔や滑稽な顔を作り、悪い霊を怖がらせて追い払うため、ハロウィンの晩、家の戸口の上り段に置きました。日本の大晦日から新年と、お盆が一緒になったような行事ですね。



日本では、11月7日ごろ、立冬を迎えます。冬の始まりです。衣類ではセーターやコートなどを出し、炬燵やストーブなどの暖房器具の登場です。寒い地域では、冬ごもりの準備をします。ただ日本では、立冬が新年の始まりにはなりません。昔は立春が新年の始まりでした。

日本でも外国でも、寒くて夜の長い冬の季節は、人間にとって厳しいものだったと思います。その時期を乗り越えて、明るく暖かな春を迎えるまで、いろいろ暮らし方を工夫したことでしょう。私たち人間も自然の一員です。豊かな自然の恵みに感謝して、自分の務めを果たし、自然との和を保ちながら生活していきたいものです。

寒くなりました。皆さん、暖かくして冬を乗り切りましょう。

* 海の子文庫読み聞かせ(低学年) 10月26日



10月26日(水)、今度は「海の子文庫」さんによる低学年への読み聞かせ会がありました。アセンブリホールに集まった、1年生から3年生の児童は、わくわくドキドキです。右の紙芝居は、「がまんのケーキ」です。おいしそうなケーキを前にずっと我慢してはいてはいけなくて、だ



んだん首や顔が伸びてきてしまいます。聞いているこちらまで、すぐお腹がすいてきてしまいました。いつもとっても楽しい読み聞かせをありがとうございます。「海の子文庫」さん、これからもよろしくお願ひします。

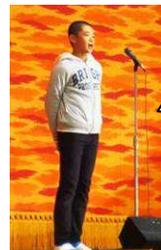
* 美浜町文化祭 10月29、30日

10月29日(土)、30日(日)の両日、美浜町の文化祭芸能祭が美浜町総合公園体育館で行われました。子どもたちの力作が勢揃いしました。本当は児童全員の作品を出品させてあげたいのですが、数に制限があり、先生方は作品選びにいつも苦労しています。戻ってきた作品も合わせて、今は、各学級の教室や廊下展示してあります。どの子の作品も「みんな違ってみんないい」そんな布土小の児童作品です。



* 学習発表会 11月12日

11月12日（土）に、学習発表会を行いました。寒くなるのではと心配しましたが、当日は、大変暖かいよい日になりました。多くの保護者や来賓の方にご観覧いただきました。ありがとうございました。



児童会長挨拶



1年 オペレッタ「3まいのおふだ」



2年 音楽舞踊劇「スイミー」



3年 劇「なかないで 布土のなかまたち」



4年 劇「寿限無」



楽しい幕間



つつじ・さつき学級「やさいさん」



金管バンド部 「負けないで」



5年 音楽劇「セロ弾きのゴーシュ」
器楽合奏「栄光の架け橋」



6年 劇「ホワイト シャイニング ロード」